



屈辱の日4.28祝う？

改憲世論の下地作り

安倍政権は4月28日を主権回復の日として制定するという。これに対して沖縄では「あまりに無神経！」と強い抗議の声が上がっています。昨年その日4月28日付け『琉球新報』の「社説」は頭越しの日米合意に次のように述べています。

60年前と一体、何が変わったのか。日米両政府が27日に発表した在日米軍再編見直しの共同文書にこんな印象を抱く県民が多いのではないだろうか。

米軍普天間飛行場の移設先について名護市辺野古が「これまでに特定された唯一の有効な解決策である」と結論づけた。知事をはじめ県内世論の大多数が県内移設に反対しているにもかかわらず、県土の



利用方法を日米が県民の頭越しに勝手に決めたのだ。

連綿と続く「屈辱」

60年前のきょう4月28日は対日講和条約（サンフランシスコ平和条約）が発効された日。敗戦国の日本が完全に主権を回復し、連合国の占領状態から独立を果たした。一方でこの日を境に沖縄、奄美を含む南西諸島が日本から切り離され、米軍統治という異民族支配が始まる。その後連綿と繰り返された住民弾圧、人権蹂躪（じゅうりん）の源流となるこの日を、沖縄では「屈辱の日」として語り継いできた。

沖縄を日本から切り離した米軍はまず、住民が暮らしていた土地を強制的に接収し、基地拡大を始めた。1953年4月、真和志村の安謝、天久、銘苅に土地収用令を発令し、その後も伊江島、読谷、小禄、宜野湾の各村に武装兵を動員し「銃剣とブルドーザー」で住民を追い出し、家屋を次々となぎ倒した。



こうして日本の国土面積の0.6%しかない沖縄県は現在、在日米軍の74%を抱えて差別的な過重

負担を強いられている。

「沖縄における米軍のプレゼンス（駐留）の長期的な持続可能性を強化する」。共同文書は記す。

戦後67年も基地被害に苦しんできた沖縄に、長期にわたって基地を置き続けるという日米の狙いははっきりした。条約発効から60年後の「屈辱の日」前日に、新たな「屈辱」が重ねられる。沖縄をいつまで日米安保の踏み台にするのか。（中略）57年前、土地を奪われた伊江島の住民が本島に渡り、多くの人々に実情を訴えるために行脚した「乞食行進」でこう訴えた。

「乞食するのは恥であるが、武力で土地を取り上げ、乞食させるのは、なお恥です」。戦後も沖縄だけに過重負担を強いている現在の日米両政府の姿にも通じる一文である。

政府普天間基地移設へ

辺野古埋め立て申請

政府は3月22日地元名護の漁協が埋め立てに同意したとして沖縄県に埋め立ての申請を提出した。県民の意向をまったく無視した普天間基地の移転計画強行に稲嶺名護市長は怒り、仲井真知事は「無理だ」と不快感を表明しました。

こうした中での4・28についての方針がどれほど沖縄の人々の心を傷つけるものか。

《流山憲法集会》

5月18日(土) 14:00開会
流山市生涯学習センター



いは
講演: 伊波洋一さん

「オスプレイ配備の
沖縄から日本の平和
を考える」

(元沖縄県宜野湾市長)

沖縄県民の怒り、 沖縄置き去りの 「片面」講和条約

日本が占領から独立したのはサンフランシスコ条約（講和条約）発効の1952年4月28日。

ところが、この条約は戦後の冷戦体制の中でアメリカが在日米軍を正当化するためでもありました。米国は日本を独立国にし、その日本との条約で米軍基地をおいている形をとろうとしたのでした。（実際にそのために講和条約と同時に吉田茂氏以外内容が知らされないまま日米安保条約に調印させられました。）そのため、戦勝国の間でも反対があり、戦った国全体と仲直りしないといういびつな講和条約（片面講和）。インドや中国、ビルマ等々の国が調印していません。そして米軍基地はおいたまま。一部領土は戦勝国の米ソが占領したままでした。それを定めたのが第3条です。

この条文で沖縄と一緒に日本から切り離された奄美は琉球とは日本との関係が異なり、奄美の激しい反米祖国復帰の活動などがあって1953年に復帰したため、事実上北緯27度線以南の沖縄が残されました。

サンフランシスコ条約 第三条【信託統治】

日本国は、北緯二十九度以南の南西諸島（琉球諸島及び大東諸島を含む。）、孀婦（そふ）岩の南の南方諸島（小笠原群島、西ノ島及び火山列島を含む。）並びに沖の鳥島及び南鳥島を合衆国を唯一の施政権者とする信託統治制度の下におくこととする国際連合に対する合衆国のいかなる提案にも同意する。このような提案が行われ且つ可決されるまで、合衆国は、領水を含むこれらの諸島の領域及び住民に対して、行政、立法及び司法上の権力の全部及び一部を行使する権利を有するものとする。

憲法審査会 動いています

次回は衆議院憲法審査会 4月4日(木)

参議院憲法審査会 4月3日(水)

国会内で開かれ、傍聴することもできます。

その審議内容についてメールやFAXなどで意見を出すこともできます。

一応開かれた形にはなっているのでインターネットで一度見てください。 衆議院の場合

http://www.shugiin.go.jp/index.nsf/html/index_kenpou2.htm

またはWEBで「憲法審査会」で見られます

懲りない東電 停電事故公表せず

福島第一原発が、29時間という長時間にわたって冷却装置の電源停止、原因不明という異常事態であわや大惨事になりかねなかったのに、東電は直ちに報告せず、その隠蔽体質があらためて問題視されています。

その原因は隙間から入り込んだネズミの感電死！その杜撰さには呆れるとともに、恐怖で背筋が寒くなります。なんといまだに仮設の電源装置が使用されており、それは2年間もトラックに積んで、応急の配線をしたままなので、あちこちに隙間があり、小動物が入り出すというのです。以前にも冷却水のビニールホースが破れて汚染水が漏れる事故がありました。その原因はチガヤという植物の芽が突き破ったとか……。科学技術の最先端を誇って安全神話をばら撒いてきた装置が自然のわずかな力で「大山鳴動しかねないネズミ一匹」のお粗末。

3. 9さよなら原発集会（明治公園）



好天の中、明治公園に15000人が集まりました。呼びかけ人の鎌田慧さんは「ヒロシマという言葉で原爆を忘れないように、フクシマという

言葉で絶対原発を忘れてはならない。すでに子ども達の甲状腺がんが出ているという。それなのに経済が大事だという人たちの信じない。」と挨拶。

この日九条の会からの参加者は7名でしたが、翌日の10日にも悪天候の中、多くの方が参加しました。



4月9日(火)は定例駅宣

3月9日は「さよなら原発……」の行動で3月11日に変更しましたが、4月は定例どおりです。

4月9日(火)は「おおたかの森駅」

15:30～16:30です

カンパはこちらの郵便振替口座へ

00130-5-464735 口座名 九条の会流山